

100億宣言アドバイスシート

宣言のメリット:成長加速化補助金5億円の要件

対象:売上高10億円以上100億円未満の中小企業者等
(税法上の中小法人を含む)

「100億宣言」に込めた想い

我が国は、この30年余の間、バブル崩壊に伴う混乱やデフレ、世界的な金融危機、度重なる自然災害、コロナ禍といった幾多の難局に直面してきましたが、日本の強みである「ものづくり/職人技」、「おもてなし/顧客第一主義」、「勤勉さ」に加え、その時代に合った創意工夫をしながら、これらの局面を乗り越えてきました。その結果、名目GDPは600兆円、設備投資は100兆円をそれぞれ超え、賃金も、33年ぶりの高い賃上げ率を実現しました。「成長と分配の好循環」は、着実に動き始めています。

現在、我が国経済は、長きにわたったコストカット型経済から脱却し、デフレに後戻りせず、「賃上げと投資が牽引する成長型経済」に移行できるかどうか、まさに正念場です。そして、その鍵は日本の雇用の7割、付加価値の5割以上を占める中小企業・小規模事業者の皆様の役割、何より**経営者の皆様が日頃から取り組まれている挑戦と創意工夫にあり、政府としてもこれを全力で応援**します。

特に地域経済においては、地域に良質な雇用を生み出すためには、国内外の需要の開拓や積極的な投資を通じて、「稼ぐ力」を大きく伸ばす企業の存在が欠かせません。構造的な底上げに加えて、良質な雇用や域内仕入れなど地域経済にインパクトをもたらす一定規模の企業を創出していくことが重要であり、**「売上高100億円」を実現し、多くの付加価値を生み出すことが一つの方策**であると考えます。

政府として、施策を着実に実現し、**日本が成長へ向かう足取り**を確かなものとし、未来の世代により良い日本を残していく責務があります。その契機として、**「100億宣言」**を軸とする中小企業の成長を全力で支援します。

「売上高100億円」というのは、経営者の皆様にとって野心的な目標となります。他方、これを宣言し、実現に向けて歩み始めていただくことを通じて、経営者のみならず社員の皆様にも、「大規模な取引先とも対等なパートナーとなること」、社員の待遇向上をはじめとする「別次元の事業環境」、「世の中に影響を与え、貢献できている」という新たな実感を得ていただくことに繋がります。そして、**経営者・社員の皆様が一丸となり、会社を盛り上げ、投資と賃上げを通じ、更なる成長への「きっかけ」になる**と考えます。

産業革命時には内燃機関という新しい技術をすみやかに吸収し、独自の改良を加え自動車産業を興して我が国は世界のトップランナーとなりました。今、まさに潮目であり、日本が変革期を迎えようとしているところ、成長に向けた賽は投げられました。官民共に新たなステージへ、このような思いの下、より多くの経営者の皆様の宣言を期待し、**「100億宣言」を始動**します。



行政の思いから読み取る～Key word～

我が国は、この30年余の間、バブル崩壊に伴う混乱やデフレ、世界的な金融危機、度重なる自然災害、コロナ禍といった幾多の難局に直面してきましたが、日本の強みである「ものづくり/職人技」、「おもてなし/顧客第一主義」、「勤勉さ」に加え、その時代に合った創意工夫をしながら、これらの局面を乗り越えてきました。その結果、名目GDPは600兆円、設備投資は100兆円をそれぞれ超え、賃金も、33年ぶりの高い賃上げ率を実現しました。「成長と分配の好循環」は、着実に動き始めています。

現在、我が国経済は、長きにわたったコストカット型経済から脱却し、デフレに後戻りせず、「賃上げと投資が牽引する成長型経済」に移行できるかどうか、まさに正念場です。そして、その鍵は日本の雇用の7割、付加価値の5割以上を占める中小企業・小規模事業者の皆様、何より経営者の皆様が日頃から取り組まれている挑戦と創意工夫にあり、政府としてもこれを全力で応援します。

特に地域経済においては、地域に良質な雇用を生み出すためには、国内外の需要の開拓や積極的な投資を通じて、「稼ぐ力」を大きく伸ばす企業の存在が欠かせません。構造的な底上げに加えて、良質な雇用や域内仕入れなど地域経済にインパクトをもたらす一定規模の企業を創出していくことが重要であり、「売上高100億円」を実現し、多くの付加価値を生み出すことが一つの方策であると考えます。

政府として、施策を着実に実現し、日本が成長へ向かう足取りを確かなものとし、未来の世代により良い日本を残していく責務があります。その契機として、「100億宣言」を軸とする中小企業の成長を全力で支援します。「売上高100億円」というのは、経営者の皆様にとって野心的な目標となります。他方、これを宣言し、実現に向けて歩み始めていただくことを通じて、経営者のみならず社員の皆様にも、「大規模な取引先とも対等なパートナーとなること」、社員の待遇向上をはじめとする「別次元の事業環境」、「世の中に影響を与え、貢献できている」という新たな実感を得ていただくことに繋がります。そして、経営者・社員の皆様が一丸となり、会社を盛り上げ、投資と賃上げを通じ、更なる成長への「きっかけ」になると考えます。

産業革命時には内燃機関という新しい技術をすみやかに吸収し、独自の改良を加え自動車産業を興して我が国は世界のトップランナーとなりました。今、まさに潮目であり、日本が変革期を迎えようとしているところ、成長に向けた賽は投げられました。官民共に新たなステージへ、このような思いの下、より多くの経営者の皆様の宣言を期待し、「100億宣言」を始動します。



企業ロゴ



事業所や製品の写真等

〇〇 (写真の説明文)

- 〇本社所在地：・・・
- 〇事業概要：・・・
- 〇従業員数：・・・ (〇年〇月期)
- 〇現在の売上高：〇億円 (〇年〇月期)
- 〇法人番号：〇〇
- 〇登録番号：〇〇
- 〇Web : https://〇〇〇

2

企業理念・100億宣言に向けた経営者メッセージ



経営者
写真

肩書
氏名

・・・ (企業理念・ミッション)

・・・ (100億宣言に向けた経営者メッセージ)、100億企業への成長を通じた実現したい内容 (顧客、地域社会への貢献、社員の成長・待遇改善等)

3

売上高100億円実現の目標と課題

実現目標

(例) 〇〇年の売上高達成に向け、年率〇〇%程度の成長を目指す。(期間やプロセス)

課題

.....

4

売上高100億円実現に向けた具体的措置

目指す成長手段

売上高100億達成のための具体的措置について記載
例えば、設備投資による生産体制増強、海外展開、新事業・新分野進出、M&A等の成長手段をできるだけ具体的に記述)
その他、先進性・成長性(生産性、製品・サービス等の競争力等)。

実施体制

.....

①企業概要

1.企業ロゴ → ロゴの有無を確認

2.事業所や製品の写真等 → 事業者の魅力が伝わる画像 ※画像の説明を10文字程度

3.本社所在地 → 登記住所(拠点が別の場合は併記)

4.事業概要 → 30文字程度

5.従業員数 → 決算日を括弧書き、パート・アルバイトに人数を分けて記載 ※法人概況説明書を参照

※「常時使用する従業員の数」は申請時において常時使用する従業員の数で判断ください。具体的には、「中小企業基本法」(昭和38年法律第154号)上の常時使用する従業員をいい、「労働基準法」(昭和22年法律第49号)第20条の規定に基づく「解雇の予告を必要とする者」をいいます。これには日雇労働者、2か月以内の期間を定めて使用される者、季節的業務に4か月以内の期間を定めて使用される者、試用期間中の者は含まれません。代表取締役や専従者等の従業員に当てはまらない者が含まれていることが判明した場合、採択取消し等になることがあります。

6.現在の売上高 → 直近決算期の売上高 ※法人概況説明書を参照

7.法人番号 → 13桁 ※確定申告書に記載された法人番号(登記簿謄本は12桁です。)

8.登録番号？

9. Web → サイトの有無を確認

②企業理念・100億宣言に向けた経営者メッセージ

1. 社長の顔写真&役職氏名

【補足説明】強い目力の写真、役職氏名は謄本や組織図参照

2. テーマ

文字数の目安:15文字前後

【補足説明】企業理念を公表できる場合は、利用可能
企業理念を公表できる状況出ない場合は??

3. 説明

文字数の目安:150~200文字

【補足説明】社会性・取引先・得意先(エンドユーザー)・従業員などに対するメッセージ

【要チェック】

非上場会社では外部メッセージ性のある理念やメッセージを作成していない可能性が想定されますね。

③売上高100億円実現の目標と課題

1. 実現目標

市場シェア、店舗数、取引者数、成長率など、売上高100億円達成に向けた説明を記載。セグメント別の表記をするとより良いです。**10年以内の目標設定が望ましい。**

【補足】セグメントは、事業・製品の種類別、所在地・店舗のエリア別・マーケット地域別など

2. 課題

課題については、具体的措置との整合性を取れるように記載をしましょう。

【補足】

中小企業の成長経営の実現に向けた研究会 第2次中間報告書に記載されている『**成長段階ごとの課題と成長企業の打ち手**』を参照すると課題の整理に役に立ちます。

現在の売上高規模別の課題が次の項目で例示されています。

・事業戦略の構想・推敲 ・設備投資 ・研究開発 ・組織・人材 ・M&A ・資金調達

④売上高100億円実現に向けた具体的措置

1.目指す成長手段

課題との整合性を取れるように記載をしましょう。

【補足】中小企業の成長経営の実現に向けた研究会 第2次中間報告書に記載されている『成長段階ごとの課題と成長企業の打ち手』を参照すると成長手段の整理に役に立ちます。

現在の売上高規模別の打ち手が次の項目で例示されています。

・事業戦略の構想・推敲 ・設備投資 ・研究開発 ・組織・人材 ・M&A ・資金調達

2.実施体制

『社内の組織体制』『外部リソースの活用』について整理します。

現状に加え、『今後の体制整備の方針』を記載

【補足】前述『成長段階ごとの課題と成長企業の打ち手』の「組織・人材」「相談相手」を参照すると実施体制の参考になります。